

製品安全データシート(MSDS)

1 化学物質等及び会社情報

製品の名称 W-3000K

会社名 化研テック株式会社

住所 大阪府交野市森南3丁目39番6号

電話番号 072-894-2590

ファックス番号 072-894-2592

担当部門 技術開発研究所 研究開発部

電話番号 0748-23-5601

ファックス番号 0748-24-0274

改訂日 2009年5月9日

推奨用途及び使用上の制限

印刷用の帯電防止剤

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類

可燃性・引火性ガス

可燃性・引火性エアゾール

支燃性・酸化性ガス

高圧ガス

引火性液体

可燃性固体

自己反応性化学品

自然発火性液体

自然発火性固体

自己発熱性化学品

水反応可燃性化学品

酸化性液体

酸化性固体

有機過酸化物

金属腐食性物質

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入:ガス)

急性毒性(吸入:蒸気)

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

吸引性呼吸器有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性

水生環境有害性・慢性

分類対象外

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

区分2

区分2

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

区分2

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

- 注意書き 【安全対策】
- ・ 取り扱いに際しては製品安全データシート(MSDS)をよくお読みください。
 - ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・ 指定された個人用保護具を使用すること。
 - ・ 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・ 保護手袋を着用すること。
 - ・ 取扱い後はよく洗うこと。
- 【救急処置】
- ・ 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 - ・ 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・ 皮膚に付いた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 - ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
 - ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着けていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
 - ・ 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
 - ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 - ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 - ・ 特別処置が緊急に必要である。
 - ・ 取り扱った後、手を洗うこと。
- 【保管】
- ・ 容器を密閉して涼しい所/換気の良いところで施錠して保管すること。
- 【廃棄】
- ・ 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学特性	非イオン系界面活性剤、アルキルアンモニウム塩カチオン等のエマルジョン		
危険有害成分	化学名	濃度範囲	CAS No.
	アルキルアンモニウム塩カチオン	非開示	非開示
	イソプロピルアルコール	1%未満	67-63-0

4 応急措置

吸入した場合	大量の蒸気、ガスを吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。 呼吸が不規則か、停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴等は速やかに脱ぎ捨て、皮膚に触れた部分を水、温水等を流しながら洗浄した後、よく洗い流す。皮膚に炎症を生じた際は医師の手当を受ける。
目に入った場合	直ちに豊富な清浄水で最低15分以上洗浄した後、眼科医の診断を受ける。 洗眼の際、眼球のすみずみまで水が行き渡るように洗う。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の手当を受ける。 意識がない場合は、口から何も与えてはいけなし、無理に吐かせてはならない。

5 火災時の措置

消火剤	粉末、炭酸ガス、泡が有効である。
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水を用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性	知見なし
特定の消火方法	火元の燃焼源を絶ち、消火剤を用いて風上より消火する。 移動可能な容器は速やかに移動する。 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移し、移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具(手袋、保護衣、眼鏡、マスク)を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
- ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れる事を防止する。
- 環境に対する注意事項
- ・ 流出物が排水溝や河川等に排出されないように注意する。
 - ・ 危険がない場合は漏洩部を塞ぐ。
 - ・ 河川、湖沼へ流出した場合は、警察署、消防署、保険所、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、農協、漁協等に直ちに連絡をとる。

除去方法

- ・少量の場合には、活性炭、乾燥砂、おがくず、ウエス等に吸収させて産業廃棄物として処理する。
- ・多量の場合には、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いて密閉式の空容器にできるだけ回収し、
- ・回収できなかった流出物については活性炭、乾燥砂、おがくず等により吸収させて産業廃棄物として処理する。

二次災害の防止策

河川、湖沼へ流出した場合は、警察署、消防署、保険所、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、農協、漁協等に直ちに連絡をとる。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- ・取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。
 - ・取扱いの都度、容器を密閉する。
 - ・作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等を着用し、直接の接触を避ける。
 - ・取扱い場所の近くに洗眼、及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
 - ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
- 保管**
- ・保管場所は決められた指定の場所に置くこと。
 - ・容器は密栓し、直射日光を避け、換気良好な冷暗所に保管する。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 (安衛法 作業環境評価基準)		400ppm(イソプロピルアルコール)
許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH勧告値		400ppm(イソプロピルアルコール) 400ppm(イソプロピルアルコール)
設備対策	全体換気を行い、密閉された設備、機器又は、局所排気装置を使用・設置することが望ましい。 取扱い場所近くに洗眼、及び身体洗浄のための設備を設ける。	
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具	有機ガス用防毒マスク(加熱した場合) 不浸透性保護手袋(ゴム手袋) 保護眼鏡 保護衣、保護前掛け、保護長靴

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	...	液体(エマルジョン)	爆発範囲	...	2.0~12.7vol% (イソプロピルアルコール)
色	...	白色	蒸気圧	...	データなし
臭い	...	特異臭	蒸気密度	...	データなし
pH	...	5	比重	...	1.0
融点・凝固点	...	データなし	水溶解性	...	溶解する
沸点	...	100°C(水の沸点)	オクタノール/水分係数	...	データなし
引火点	...	認められず	分解温度	...	データなし
発火点	...	データなし			

10 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵条件では安定である。
反応性	酸化剤と接触、混合すると、激しい反応や火災がおこる。
避けるべき条件	高温、高湿、直射日光、混触危険物質との接触
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	本品を焼却する場合は、ダイオキシンを発生する恐れがある。

11 有害性情報

急性毒性(経口)	知見なし
急性毒性(経皮)	知見なし
皮膚腐食性/刺激性	アルキルアンモニウム塩カチオン 強い刺激性あり(すぐに洗い落とさないとかぶれを起こす)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	アルキルアンモニウム塩カチオン 強い刺激性あり(すぐに取り除かないと重大な障害を及ぼす危険性がある) イソプロピルアルコール 眼に弱い刺激を与える
呼吸器感受性	知見なし
皮膚感受性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	イソプロピルアルコール ラットを用いて妊娠6～15日の10日間、0,400,800,1200mg/kg/dayの用量で強制投与したところ、800mg/kg/day以上で母動物に死亡がみられ、胎児体重が減少したが、奇形はみられていない。 ウサギを用いて妊娠6～18日の13日間、0,120,240,480mg/kg/dayの用量で強制投与したところ、480mg/kg/dayで母動物に死亡、体重増加の抑制、摂餌量の減少がみられたが、胎児への影響はなく奇形もみられていない。
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	知見なし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	知見なし

12 環境影響情報

分解性	知見なし
蓄積性	知見なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

ドラム等に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。

焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。

本品を焼却する場合は、ダイオキシンを発生する恐れがあるので、炉温度850℃以上で燃焼、

滞留時間2秒以上が望ましい。

外部委託の場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器・包装

ウエス等により拭き取り、金属容器の場合は「金属くず」である事を明記して都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14 輸送上の注意

国際規則

国連分類 該当なし

国連番号 該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確かめる。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

混触危険物質との混載は避ける。

”漏出時の措置”を参照。

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。

15 適用法令

労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則 第57条 名称等を表示すべき有害物 第57条の2 名称等を通知すべき有害物 法施行令別表第1 危険物	有機溶剤に該当せず 該当せず プロピルアルコール 該当せず
化学物質管理促進法(PRTR法)	第一種指定化学物質 第二種指定化学物質	該当せず 該当せず
消防法		該当せず
毒物及び劇物取締法	毒物、劇物	該当せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則		該当せず

16 その他の情報

引用文献

GHS対応ガイドライン(暫定版)

第一部 GHS対応ガイドライン概要 平成18年5月 (日本化学工業協会)

第二部 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)平成18年5月 (日本化学工業協会)

第三部 ラベル表示作成指針 平成18年5月 (日本化学工業協会)

化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)(2004年4月 関係省庁連絡会議仮訳)

WebKis-Plus化学物質情報データベース(国立環境研究所)

GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

安衛法便覧 平成16年度版(労働基準調査会)

化学物質法規制検索システム2001年改訂版(日本化学工業協会)

国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所化学物質情報部)

神奈川県化学物質安全情報提供システム(kis-net)

毒物劇物取扱の手引き(時事通信社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則(運輸省海上技術安全局)

消防関係法規集(2008年度版)

危険有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

なお、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。

また、注意事項は一般的な取扱いを対象としていますので、特殊な取扱いの場合はご配慮願います。